取扱説明書

モバイルアシストアプリケーション　for Android

（ET-MAAPA）

Ver 1.0X

このたびは、本製品をご利用頂きまことにありがとうございます。
この「取扱説明書」は、モバイルアシストアプリケーション（以下本アプリケーションまたはアプリケーションと表現）をご利用する場合の取扱説明書です。
よくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
●この「取扱説明書」に書かれていない機能については、ボタン電話装置の取扱説明書または、モバイルアシストの取扱説明書をご覧ください。
●主装置のデータ設定については、販売店にご依頼ください。

※本取扱説明書中のイラスト及び画像は、説明用のため実際とは多少異なる場合があります。
　また、説明に関係のない部分を一部省略している場合があります。

F-6311-1

主な特長

ワンタッチでモバイルアシスト機能が利用できます。
主装置電話番号を毎回ダイヤルする必要がありません。特番を事前にアプリケーションに登録する事で主装置電話番号や特番を覚える必要もありません。

端末の電話帳を利用できます。
スマートフォンの標準電話帳に登録されている連絡先を利用して主装置経由で発信することができます。

主装置ＷＥＢにワンタッチで接続できます。
携帯ブラウザ連携機能が利用可能な場合、ワンタッチボタンに主装置ＷＥＢボタンを設定する事で、ワンタッチで主装置に接続できます。

本アプリケーションから発信した履歴を標準電話アプリとは別に管理できます。
モバイルアシストは、必ず主装置経由で利用するため、標準の電話アプリには主装置の電話番号が履歴に残りますが、本アプリケーションの履歴には、主装置電話番号を除いた電話番号や特番のみ表示します。

目次

主な特長……1
目次……2

１．概要

アプリケーション導入上のご注意……3
対応ＯＳと端末……3

２．アプリケーションの起動

アプリケーションの起動……4

３．アプリケーションの設定

主装置設定……5
ＭＡ選択発信設定……6
ワンタッチ設定……7
一般設定……8
パスワード設定……9
インポート・エクスポート……10
ＭＡ選択発信、ワンタッチのボタン位置変更…12

４．操作方法

ワンタッチ(発信) ……13
ワンタッチ(携帯ブラウザ連携) ……14
ダイヤル……15
履歴……17
連絡先……19

１．概要

本アプリケーションは、ｉＦシリーズのモバイルアシスト機能（以下 MA）【主装置プログラム版数４－１版～】を簡単な操作で利用していただくための支援アプリケーションです。

アプリケーション導入上のご注意

①本アプリケーションは、カスタムＲＯＭやＲｏｏｔ化された端末、改造された端末では動作保証しておりません。
②本アプリケーションは、電話発信をする場合、スマートフォンの標準電話アプリを利用します。また、携帯ブラウザ連携機能を利用する場合、スマートフォンの標準ブラウザを利用します。上記以外のアプリケーションを標準アプリケーションとして利用している場合や、端末として無効にしている場合は、正常に動作しない場合があります。
③本アプリケーションの連絡先には、スマートフォンで利用している連絡先が表示されます。標準インストールされている連絡先アプリケーション以外を標準アプリケーションとして利用している場合には、正常に動作しない場合があります。
④本アプリケーションを利用して電話発信をする際には、携帯電話の通話料金が発生します。
⑤携帯ブラウザ連携機能を利用する場合にはデータ通信が発生し、パケット通信料が発生します。
⑥一度アプリケーションをインストールするとアプリケーション専用フォルダーが端末内に作成されます。アプリケーションを完全に削除する場合には、アプリケーション専用フォルダーも削除してください。
⑦ご利用の端末によっては、ＭＡ発信やＭＡ選択発信をした場合、主装置一次応答信号（ツツツ・・・）のあとに、特番や内線番号のプッシュ信号（ＰＢ信号）が聞こえる場合があります。

対応ＯＳと端末

・本アプリケーションの動作条件

対応ＯＳ：Android 4.4

ＣＰＵ：クアッドコア　2.2GＨｚ以上

端末の解像度：1920×1080

※上記動作条件を満たしている場合であっても、本アプリケーションが正常に動作しない場合が有ります。ご注意ください。

※端末のＯＳ自動バージョンアップは行わないでください。

・動作確認済みの機種

ａｕ：Xperia™ Z3(SOL26)

ｄｏｃｏｍｏ：GALAXY S5 (SC-04F)、Xperia™ Z3 (SO-01G)

※動作確認済みの機種及び動作確認済みのＯＳバージョンは、順次増やしていく予定です。動作確認の結果は、本アプリケーションのダウンロードサイトをご確認ください。

2．アプリケーションの起動

アプリケーションの起動

アプリケーションを起動します。

1 アプリケーションアイコンをタップする。

2 アプリケーションの起動画面が表示される。

3 基本スクリーンが表示される。

【補足説明】

- 基本スクリーンは、設定画面で変更することができます。
- パスワード設定をしていた場合は、基本スクリーンが表示される前にパスワード入力画面が表示されます。

3．アプリケーションの設定

主装置設定

本アプリケーションを MA で利用するために、設定を行います。

1

本アプリケーションの
設定アイコン ⚙
をタップする。

2

設定画面が表示される
ので、「主装置設定」
をタップする。

3

各項目を設定する。

【設定項目の説明】

主装置電話番号	MAで利用する主装置の電話番号を設定します。(最大 16 桁)
ポーズ時間	主装置一次応答後に追加ダイヤルを PB 送出するまでの時間を設定します。(初期値：3 秒)
主装置MACアドレス	携帯ブラウザ機能を利用する場合、主装置の MAC アドレスを設定します。
主装置容量	主装置の容量を設定します。（iFS または iFM）
https ポート番号	主装置と通信するためのポート番号を設定します。(初期値:50010)

【補足説明】

- ご利用の環境により、ポーズ時間を変更してください。
  ポーズ時間が短いと主装置が PB 受信出来ない場合があります。
- ポーズ時間は、主装置応答後にＰＢを送出するまでの時間です。
  端末の機種によりポーズ時間が異なる場合があります。
- https ポート番号設定を変更する場合は、主装置設定が必要です。

4

設定が終わったら
⮌ をタップし、
設定画面にもどる。

3．アプリケーションの設定

MA 選択発信設定

MA 選択発信設定に、主装置の外線自動発信グループやボタン指定捕捉特番を事前に登録することで、相手先に通知する発信者番号を選択することができます。

1

設定画面で
「MA 選択発信設定」
をタップする。

2

MA 選択発信設定
画面の ＋ をタップ
すると
MA 選択発信設定
登録画面が表示される
ので、各項目を設定
する。
設定後に「OK」を
タップする。
※設定を保存しないで、
前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする

【設定項目の説明】

名称	MA 選択発信時に表示する名称を設定します。（最大１２文字）
特番	外線自動発信グループやボタン指定捕捉特番を設定します。（最大７桁）
「#」ダイヤル付加	追加ダイヤルの最後に#付加をするか設定します。（レ点が入ると「ON」になります。）
特番後のポーズ時間	特番ダイヤルで外線捕捉後に追加ダイヤルを送出するまでの時間を設定します。（初期値：３秒）

【補足説明】
- リストは最大で１０件まで登録できます。
- 実際の発信では、下記のダイヤルをアプリケーションで自動作成します。
  利用する回線やGWの状況により適宜設定を追加してください。

（ダイヤル例）
（主装置電話番号）＋ P ＋（特番）+ P + 追加ダイヤル(相手先番号) +#
ポーズ(*1)　ポーズ(*2)

*1：主装置設定のポーズ時間、*2：MA 選択発信設定の特番後のポーズ時間

3

MA 選択発信設定
画面に設定内容が
追加される。
※設定画面に戻る場合は、
をタップする

【補足説明】
- 設定内容を編集する場合には、編集したい項目をタップして画面右上の をタップしてください。
- 設定内容を削除する場合には、削除したい項目をタップして画面右上の をタップしてください。

（詳細画面表示例）

3．アプリケーションの設定

ワンタッチ設定

ワンタッチボタンに内線番号や特番、携帯 WEB の接続ページを設定します。

1

設定画面で
「ワンタッチ設定」
をタップする。

2

ワンタッチ設定
画面の ＋ をタップ
すると
ワンタッチ設定登録
画面が表示されるので、
各項目を設定する。
設定後に「OK」を
タップする。

**※設定を保存しないで、
前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする**

【設定項目の説明】

名称	**ワンタッチ画面に表示する名称を設定します。（最大１２文字）**
特番または内線番号	**特番または内線番号を設定します。（最大１６桁）**
WEB ページ指定	**携帯ブラウザで利用する WEB ページを設定します。（スピナーで項目を指定） ※特番または内線番号と同時設定する事はできません。**

【補足説明】

- リストは最大で２４件まで登録できます。
- 携帯ブラウザ連携用に指定できる WEB ページは、下記項目のみ
  ①携帯ブラウザ連携トップ：主装置のリモート MENU(トップページ)を指定します。
  ②発着信履歴：主装置の発着信履歴ページを指定します。
  ③共通電話帳：主装置の共通電話帳検索ページを指定します。
  ④内線電話帳：主装置の内線電話帳検索ページを指定します。
  ⑤留守録 BOX/内線 BOX：主装置の留守録 BOX/内線 BOX 再生ページを指定します。

3

ワンタッチ設定
画面に設定内容が
追加される。

**※設定画面に戻る場合は、
⮌ をタップする**

【補足説明】

- 設定内容を編集する場合には、編集したい項目をタップして画面右上の をタップしてください。

- 設定内容を削除する場合には、削除したい項目をタップして画面右上の をタップしてください。

（詳細画面表示例）

ご注意

●ワンタッチボタンに設定可能な特番の桁数は 16 桁ですが、利用する端末の標準電話アプリケーションの仕様により、全てのダイヤルを受付けない場合がありますので、ご注意ください。

3．アプリケーションの設定

一般設定

アプリケーション起動時の表示画面や発信方法を設定します。

1 設定画面で「一般設定」をタップする。

2 基本スクリーンをタップすると起動時に表示する画面のダイアログが表示されるので、アプリケーション起動時に表示する画面を選択し、「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする

【補足説明】
・アプリケーションを起動した場合に、最初に表示する画面です。

3 発信方法を選択します。ワンタッチ画面や、ダイヤル画面等で電話発信する際に表示する項目にレ点を入れて「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする

【補足説明】
・MA 発信の場合、主装置電話番号発信後に PB で内線番号や特番を利用して発信をします。
・MA 選択発信の場合、主装置電話番号発信後に PB で MA 選択発信設定で設定した特番と追加ダイヤルを利用して電話発信することができます。
・携帯発信の場合、携帯電話の番号でそのまま発信をします。
主装置経由の発信にはなりません。
※本アプリケーションをモバイルアシスト専用で利用する場合、「一般設定」-「発信方法選択」で、携帯発信のレ点を外して設定してください。

3．アプリケーションの設定

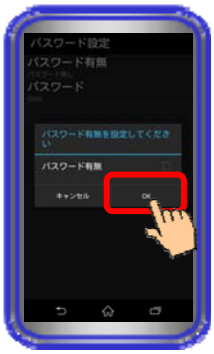
パスワード設定

アプリケーション起動時にパスワード画面を表示するか設定します。

1 設定画面で「パスワード設定」をタップする。

2 パスワード有無をタップし、パスワード画面を表示する場合は、レ点を入れて「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする



【補足説明】
・パスワードを変更しなかった場合、初期値「００００」でロックされます。

3 パスワードを設定して、「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする
※パスワードは、数字４桁で設定してください

ご注意

●パスワードを忘れた場合、アプリケーションを再インストールする必要があります。再インストールした場合、設定データは初期に戻りますのでご注意ください。事前にエクスポートした設定データがある場合には、エクスポートファイルは残りますので、再インストール後にエクスポートファイルをインポートしてください。

3．アプリケーションの設定

インポート・エクスポート

1．設定ファイルをエクスポートすることができます。

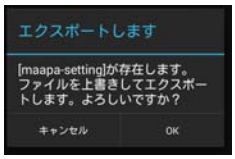
1 設定画面で
「インポート・エクスポート」
をタップする。

2 エクスポートをタップするとファイル名が表示されるので、「OK」をタップする。
※前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする

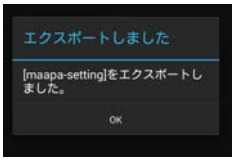
【補足説明】
・保存先は、「storage/emulated/0/mobileassist/setting」内の指定ファイル名となります。
・ファイル名は変更することもできます。ファイル名を変更する場合、表示されているファイル名をタップし、文字を削除した後に指定するファイル名を入力してください。

3 「エクスポートします」を表示するので、「OK」をタップする。
※前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする

【補足説明】
・同一のファイル名が有る場合には右記の画面が表示される。



4 「エクスポートしました」が表示されるので、「OK」をタップする。



ご注意

●エクスポートしたファイルを編集した場合、正常にインポートできない場合があります。エクスポートしたデータを編集する場合は、ＰＣのメモ帳等で編集をおこなってください。

3．アプリケーションの設定

インポート・エクスポート

2．設定ファイルをインポートすることができます。

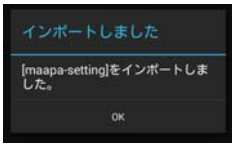
1 設定画面で
「インポート・エクスポート」
をタップする。

2 インポートをタップするとインポートするファイル名が表示されるので、「OK」をタップする。
※前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする

【補足説明】
・読み込み先は、「storage/emulated/0/mobileassist/setting」内の指定ファイル名となります。
・エクスポートしたファイル名を変更している場合には、表示されているファイル名をタップし、文字を削除した後に指定のファイル名を入力してください。

3 「インポートします」を表示するので、「OK」をタップする。
※前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする

4 「インポートしました」が表示されるので、「OK」をタップする。



【補足説明】
・「インポートできませんでした」が表示された場合は、ファイル名を確認して再度インポートを実行してください。

ご注意

●エクスポートしたファイルを編集した場合、正常にインポートできない場合があります。エクスポートしたデータを編集する場合は、ＰＣのメモ帳等で編集をおこなってください。

3．アプリケーションの設定

MA 選択発信、ワンタッチのボタン位置変更

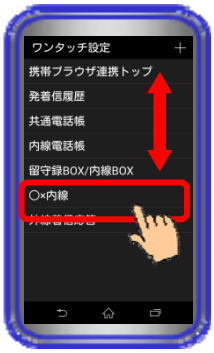
MA 選択発信設定及びワンタッチ設定は、ボタンの位置を自由に移動することができます。

※下記は、ワンタッチ設定の例になります。

1 設定画面で「ワンタッチ設定」をタップする。

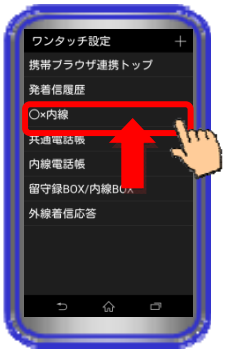
2 ワンタッチ設定画面で移動したい項目をロングタップする。ボタンが浮き上がる。

※設定画面に戻る場合は、 をタップする



3 移動したい場所までスライドさせ、指を画面上から離す。

※設定画面に戻る場合は、 をタップする



4. 操作方法

ワンタッチ（発信）

内線番号や特番を設定してあるワンタッチボタンをタップすることで、ワンタッチ発信することができます。

1

内線番号や特番を設定されたワンタッチボタンをタップする。

2

発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

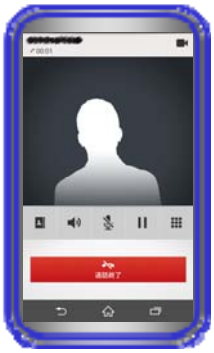
※「キャンセル」をタップするとワンタッチ画面に戻る

【補足説明】

- MA 発信　：主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA 発信を選択して発信をします。
- MA 選択発信：特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合（外線番号指定や外線自動発信グループを選択後）は、MA 選択発信を選択して発信をします。
- 携帯発信　：携帯からそのまま発信をします。**主装置経由の発信にはなりません。**

3

標準電話アプリが自動で起動し、発信する。



【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」で設定した電話番号になります。
- 相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。

4

通話が終了したら標準電話アプリの「通話終了」ボタンをタップする。

4. 操作方法

ワンタッチ（携帯ブラウザ連携）

携帯ブラウザの WEB ページを指定しているワンタッチボタンをタップすることで、主装置 WEB に接続することができます。

1 **携帯ブラウザの「WEB ページ指定」を設定したワンタッチボタンをタップする。**

【補足説明】

・ワンタッチボタンには、携帯ブラウザ連携用のボタンを初期設定してあります。（「携帯ブラウザ連携トップ」、「発着信履歴」、「共通電話帳」、「内線電話帳」、「留守録ＢＯＸ／内線ＢＯＸ」の各ボタン）必要が無い場合は、「設定」-「ワンタッチ設定」で各ボタンを削除してください。

2 **標準ブラウザが起動する。**

以降の操作は、
携帯ブラウザ機能と
同様

4. 操作方法

ダイヤル

ダイヤル画面で指定したダイヤルで発信することができます。

1 タブバーの「ダイヤル」をタップする。

2 特番や電話番号をタップして、「発信」をタップする。

【補足説明】
- ダイヤルを１文字削除する場合、 ⌫ をタップする。
- ダイヤル全てを削除する場合、 ⌫ をロングタップする。

3 発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。
※「キャンセル」をタップするとダイヤル画面に戻る

【補足説明】
- MA 発信　　：主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA 発信を選択して発信をします。
- MA 選択発信：特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合（外線番号指定や外線自動発信グループを選択後）は、MA 選択発信を選択して発信をします。
- 携帯発信　　：携帯からそのまま発信をします。
  主装置経由の発信にはなりません。

4 標準電話アプリが自動で起動し、発信する。

【補足説明】
- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」で設定した電話番号になります。
- MA 発信、MA 選択発信の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。

5 通話が終了したら標準電話アプリの「通話終了」ボタンをタップする。

ご注意

●ダイヤル画面で入力が可能なダイヤル桁数は 24 桁ですが、利用する端末の標準電話アプリケーションの仕様により、全てのダイヤルを受付けない場合がありますので、ご注意ください。

4. 操作方法

履歴

本アプリケーションを利用して発信した履歴（「発信履歴」）と標準電話アプリで着信した履歴と本アプリケーションで発信した履歴を合わせて表示した履歴（「すべて」）を確認することができます。また、折り返し発信に利用することができます。

1 タブバーの「履歴」をタップする。

2 履歴画面が表示される。

すべて：本アプリケーションを利用して発信した履歴と標準電話アプリケーションで着信した履歴を表示
発信履歴：本アプリケーションを利用して発信した履歴のみ表示
※アクティブな項目を青文字で表示

連絡先に登録済みの場合、「名称」と「電話番号」が表示される。
上段：名称
下段：電話番号

発信方法または着信の種類と、発信時または着信時の日時が表示される。

【補足説明】

- 履歴をロングタップすると履歴詳細を確認することができます。
- 履歴詳細画面で「発信」をタップすると発信方法の選択ダイアログが表示されます。
- 連絡先に登録されていない履歴をロングタップすると連絡先に登録することができます。（連絡先登録をタップした場合、標準連絡先アプリが起動します。）
- 履歴を削除する場合、ごみ箱ボタンをタップします。
  「すべて」または「発信履歴」を表示中にごみ箱ボタンをタップすると履歴は、全ての履歴が削除されます。
  履歴詳細画面でごみ箱ボタンをタップすると、表示中の履歴のみ削除されます。

3 発信したい履歴をタップする。

4 発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると履歴画面に戻る

【補足説明】

- MA 発信　：主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA 発信を選択して発信をします。
- MA 選択発信：特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合（外線番号指定や外線自動発信グループを選択後）は、MA 選択発信を選択して発信をします。
- 携帯発信　：携帯からそのまま発信をします。**主装置経由の発信にはなりません。**

5 標準電話アプリが自動で起動し、発信する。

【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」で設定した電話番号になります。
- MA 発信、MA 選択発信の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。

6 通話が終了したら標準電話アプリの「通話終了」ボタンをタップする。

4. 操作方法

連絡先

スマートフォンで利用している標準連絡先を本アプリケーションで利用します。

お気に入りボタンをタップするとお気に入り登録されている連絡先のみを表示します。

1 タブバーの「連絡先」をタップする。

2 連絡先画面が表示される。

すべて：すべての連絡先を表示
お気に入り：お気に入り登録されている連絡先を表示
※アクティブな項目を青文字で表示

【補足説明】

- 連絡先をロングタップすると連絡先の詳細を確認することができます。
- 連絡先詳細画面でお気に入り登録、解除することができます。
- 連絡先詳細画面で電話番号をタップすると発信ダイアログが表示されます。
- 連絡先は、スマートフォンに標準インストールされている連絡先（または電話帳）を利用しています。複数の連絡先アプリを利用している場合、重複表示される場合があります。

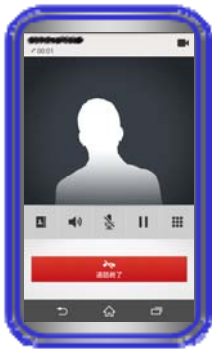
3 発信したい連絡先をタップする。

4 発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると連絡先画面に戻る

【補足説明】
- MA 発信　：主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA 発信を選択して発信をします。
- MA 選択発信：特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合（外線番号指定や外線自動発信グループを選択後）は、MA 選択発信を選択して発信をします。
- 携帯発信　：携帯からそのまま発信をします。**主装置経由の発信にはなりません。**

5 標準電話アプリが自動で起動し、発信する。



【補足説明】
- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」で設定した電話番号になります。
- MA 発信、MA 選択発信の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。

6 通話が終了したら標準電話アプリの「通話終了」ボタンをタップする。